



PTA広報

あしの

No.100

学校と家庭を結ぶコミュニケーション紙

●児童数 333名(令和5年11月30日現在)

発行 令和5年12月25日

編集 芦野小PTA広報委員会

PTA広報誌100号達成に際して、少しだけ想いを書かせてもらいます。芦野小学校は、平成の号令と共に開校されたから脈々と歴史を繋いできました。昔からPTA活動が盛んでもあります。芦野小学校は、活気のある学校だなあと他の学校で勤務をしている時に感じていたものです。PTA広報誌は、学校の活動や子どもの様子が伝わるもので、家庭と学校を繋ぐ重要な役割を担っています。今回、100号という節目を迎えると聞いて、今までの広報に携わってきたPTAの方々に対しても、敬意と称賛の気持ちが溢れます。今年度のPTA広報委員の皆様についても、情熱と責任感溢れる活動に感謝しております。本当にありがとうございます。これからも学校と家庭が同じ志を持ちながら子ども達の成長に関わっていけるように力を貸していただきたいと思います。

児童会長 飯山 幸喜
PTA広報だよりは、今回で100号達成です。ぼくは、このことを聞いて、ここまで続けてきた人達は、伝統をこわさず取り組んできて、すごいなあと思いました。

1号が発行されたのは、平成元年、今から三十六年前です。1号目は、白黒で学校の中の構造や先生達の名前など、新聞に近いものでした。しかし、この100号までにカラーになり、新闻っぽくたちが読みたい!と思う内容に工夫されてきました。

これから、ぼくたちも、芦野小の伝統を受けつき、学校がもっと楽しくなるように、児童会の活動を一生懸命取り組んでいきます。

校長 高畠 昌之

PTA広報紙作成	PTA朝の交通安全指導	PTA研修「スワッグ作り」	運動会前日準備 コーン設置作業
職員玄関にお花を生けて下さる田中さん	ハラ園の手入れをして下さる奈良さん	クラブの指導をして下さる下元さん	交通安全指導
大学生の協力	教育大の学生さん力仕事がんばってくれます	図書・読み書きボランティア	新刊図書の貸し出し準備中

六年一組 高橋 柚月
私の修学旅行の一一番の思い出は川下りや酪農体験をしました。みんなで力を合わせてバドルをこぎ、途中で黒曜石探しもして楽しめました。酪農体験では、乳しぼりしたり自分で部屋に集まりみんなで遊んだり話したりしてとても楽しかったです。

2組**修学旅行****行程**9月12日・13日
十勝方面へ
自主研修川下り
酪農体験ピザ作り
シーブドックショヨー農業体験
楽しい女子会

五年一組 赤間 未来
私の宿泊研修の思い出
は、トレジャーハントラ
リーです。班で厚岸の森の
中を歩き、ポイントをとる
ことができました。また、
ふだん近くで見ることができ
ない植物や動物を間近で
見ることができました。そ
のほかにも、班のみんなで
愛冠岬の「愛の鐘ベルア
チ」を鳴らしたりと、たく
さんの思い出ができた宿泊
研修でした。

宿泊研修**1組****2組****行程**

8月29日・30日

ネイパル厚岸
トレジャーハント
創作活動
街並みフォトラン
レクリエーション

五年二組 前田 佳穂
私達五年生は、八月
二十九～三十日に宿泊研修
に行きました。

一番楽しかった体験は、
「七宝焼」です。特殊な絵
の具をぬるのが難しかった
ですが、きれいにできてと
てもうれしかったです。

この短い二日間でも色々
なことを学びました。この
ことを学校生活にたくさん
活かしていきたいと思いま
す。



した。
PTA祭を終えて
PTA副会長 対馬みゆき
子ども達がとても楽しみにしていましたPTA祭が、今年も無事に開催できたことを嬉しく思います。感謝申し上げます。コロナ対策が緩和され、お手伝いをして下さる保護者の方や先生方が増えたことにより、できることが増えました。校内での飲食が再開し、縁日のゲームも増え、今回は先生達によるコーナーや高学年参加の「逃走中」も行い、大盛況に終えることができました。子ども達にとって学校は、勉強をし学ぶことが「日常」の場ですが、PTA祭の日は、その日常が「非日常」に変わる特別な一日になり、より一層楽しさを感じられるのではないかでしょうか。子ども達の笑顔のために、これからもPTAが一丸となり、力を合わせて行っていきたいと感じました。



編集委員の皆さん

▼1年 澤田・小出・保木
▼2年 吉村・真籠・
本
三浦・村井
今村・関口・長谷地・伊藤・
船水・野呂・喜島・近藤
長谷川・中河・金児・飯島・
馬木・田中
▼4年 高橋・中武・矢部・
吉田・大泉・高尾
▼5年 金井・松田・佐藤・
大坂・野坂・斎藤
二役高橋・松田・佐藤
淡谷・斎藤・千田・藤本・
大坂・野坂・斎藤

PTA会長 松野史寛
この度、長きに渡りPTA会員皆様、広報委員の皆様のご協力のもと広報誌100号を迎えることができました。
学校での児童たちの日々の活動を保護者の皆様に見て頂けるものであり楽しみにして頂いている保護者、児童も非常に多い広報誌となっております。

広報誌100号発行について